



つれづれなる夏の思い出

副会長 宮崎 豊彦



地球温暖化とは何なのでしょう？地球のバランスが崩れているのでしょうか？

温暖化の影響かここ数年猛暑が続き、熱中症で病院に搬送される人も増え、昔から思うと温暖化が急速に進んでいます。

子どもの頃、よく蝉捕りをしました。梅雨が明けてニイニゼミが鳴き始め、夏休みになるとアブラゼミやミンミンゼミを捕り、夕方にはヒグラシが鳴き、その後にはツクツクボウシが鳴いて夏の終わりを自然が告げてくれました。

我が子とよく蝉捕りをしましたが、今は蝉捕りをする子どもの姿を見かけることがなくなりました。時々、保育園で蝉捕りを子ども達とすると、とても嬉しそうにかごの中の蝉を見ている。残り短い生命の少しの間だけ子ども達はその姿を見てから逃がします。

ゲリラ豪雨、竜巻といった自然現象も地球温暖化の影響でしょうか？気温25℃以上が夏日、30℃で真夏日、35℃で猛暑日。子どもの頃、30℃を超える事はほんのわずかでした。地球温暖化は、人間が好き勝手にいろいろな事をしている反動でしょうか？地球にどんな社会を作りたいのでしょうか？私達の生活が便利になっていく事は大切ですが、失うものもあるという事を常に考えていなくてはいけないものだと思います。

ゲームをする子が増えると、外で遊ぶ子が減ります。道が舗装されると土は見えなくなります。夏によく日焼けをしていたのに、今は日差しが強すぎて外を歩くことが大変です。バランスが大切です。地球規模のグローバル化の中で、時代が急ぎすぎてしまっているのかもしれませんが。時代の変化の急ぐスピードに追いついていけない人もたくさんいます。地球の環境も追いついていけないのではないのでしょうか。私達は、地球という自然の中に生きている事、人工は自然の中の一部である事を思い出してみる事も大切かもしれません。

夏の日中の陽射しは強く、外を長く歩くと辛くなります。建物の中ではクーラーが必需品です。バランスの取り方に大変幅があり、真逆の状態が年々広がっているように感じます。建物は建て替えられますが、環境を元に戻すには大変な年月が掛かります。もう戻すことができないものも少しずつ増えていくのでしょうか。

バランスとはつりあい、均衡と日本語で訳されますが、地球という星はつりあいが取れているのでしょうか？

共存共栄のバランスも崩れてきているのかもしれませんが。人間と人間との共存共栄は当たり前ですが、人間は動物であることを思えば、動物同士の共存共栄、動物と植物との共存共栄が大事です。バランスとは、お互いの視点でものを見ることが大切であり、相手の立場に立って物を考えることを忘れないでいたいものです。

互譲の精神が失われつつある現代だからこそバランスが大切です。もっと譲り合い、バランスを社会の中で正常な位置に戻すことも大切なように思います。便利さを求め快適さを求めていった結果が回りまわって不幸な社会に向かってしまったら悲しい事です。

社会福祉法人改革や法人・個人のマイナンバー制度が今問題になっています。今後、どのように推移していくか注視していかなければなりません。

机上の理想の追求と現実の保育園とのバランスがうまく統合される事を祈る思いです。